

- thunderstorm. Washington, U.S. Govt, Print. Off. p. 108~114.
- 2) M.G.H. Ligda and W.A. Mayhew, 1954: On the relationship between the velocities of small precipitation areas and geostrophic winds. J. Met. 11, No. 10 p. 421~423.
- 3) L.J. Battan, 1959: Radar meteorology. Illinois: The University of Chicago Press. p. 101~103.
- 4) 山田三郎, 1959: レーダー気候学的資料 (その4), 技術通信, 5, No. 4, 福岡管区気象台.

## 理 事 会 便 り

### 第13回常任理事会議事録

日 時 昭和36年3月20日(月) 17.00~21.00

場 所 神田学士会館

出席者 岸保, 松本, 正野, 畠山, 有住, 根本, 吉武,  
磯野, 藤田, 今井, 淵各理事(順序不同)

#### 決 議

1. 学会賞については審査委員会報告により全理事に投票をお願いすることとなった。
2. 朝日科学奨励金候補に関しては北海道支部提出の「降雪機構の総合的研究」を推せんすることとな

た。

3. 日本学士院会員候補者には畠山久尚氏を推せんすることとなった。
4. アメリカ気象学会東京支部に関しては現在の行き方を希望する旨と達理事に連絡することとなった。
5. 学術交流として台風セミナーに中国学者の参加を要望する件は正野, 畠山, 松本, 岸保の4氏が和達長官と交渉することとなった。

### 中国気象学会からの書簡

日本気象学会理事長 正野重方先生

貴会が1960年10月31日に、わが国中央気象局塗長望局長に送られた手紙を受け取りました。その手紙と神山恵三先生が今回北京に滞在された期間の話を通じて、貴国の気象界が、中日両国の気象界の学術交流と人の相互交流に熱心な関心をもっていることを十分知りました。

また、神山恵三先生の紹介によって、貴会の多くの会員と、日本全国気象職員組合が、日本気象事業の民主化と日本気象工作者の生活の保障を勝ち取るために斗争し、岸政府が、アメリカが日本に置いた、U-2型機が気象活動のためであるという偽りの声明をしたことを暴露し、日・米軍事同盟条約に反対し、原子爆弾とすべての核兵器の禁止のために努力していることを知りました。われわれはこれについて、深い同情と強い支持を表明します。

中日両国の気象学会の学術交流と人の往来の問題については、貴方や、日本の多くの気象工作者がよく知られるように、あなた方と我々が、共に関心を持っている問題であり、あなた方のお手紙にあるように、ここ数年のうちに、両国の気象界は3回にわたる、往来をし、両国

気象界の相互諒解を増進することに役立ちました。しかし、我々が残念ながら指摘しなければならないことは、これまで、貴国の少数の反動勢力は一貫してアメリカ帝国主義に追随し、わが国を敵視する政策を取り、それが両国気象界の学術交流と人との往来の妨げとなってきたことです。そしていまでも、わが国を敵視する態度が改められず、政治三原則にもとずいて中日関係を改善されない事が、中日両国気象界の正常化を困難にしています。

この考え方を我々は、神山恵三先生にお話しましたが、これは日本の多くの気象工作者とも一致する考え方であり、神山先生は貴会が今後一層努力をして資料の交換と学術交流の条件をつくり出す事を希望すると述べられましたが我々は貴会のこのような正しい希望について、賛成を表明します。

日本の気象工作者と日本人民が、一層の成果をおさめることを望みます。

末尾ながらお身体お大切に

1961年1月18日

中国気象学会  
(原文は中国語)